

萬治三年九月風災

萬治三年九月風災事蹟

九月廿日癸酉○萬治三年(紀元二三三)年○癸酉(三正綜覽) 大風雨、舟船覆没ス。○御部屋日記、殿有院殿紀。

萬治三年九月風災 八、

去二○二十○二日○二 萬治三年(紀元)九月。大風ニ、下田浦○伊豆國ニ而舟百五六十艘破、舟下田○伊豆國より江戸浦迄間ニ而百五六十艘損、其外所々浦々ニ而都合七百艘損と云々。  
——御部屋日記

廿日○二 萬治三年(紀元)九月。雨、巳下刻○二カ甚雨風、未上刻○二カ雨止、晴、酉刻風止。  
——殿中日記

廿日○二 萬治三年(紀元)九月。紅葉山○城内。大猷院殿○德川家光靈廟御參拜あるべき所、御不例かつ大風雨により、松平伊豆守信綱代參す。よて家門使もて御けしき伺はる。この大風雨により、諸國に大洪水、勢州尤甚し。豆州下田浦にて、舟百五十艘くつがへり、江戸邊までの浦々にて百五六十艘、其他を合せて七百艘やぶるといへり。  
——嚴有院殿御實紀

〔附記〕

廿五日○二 萬治三年(紀元)九月。晴。午上刻○二カ甚雨風、夜ニ入止。

霸都時代ノ風水災

附記  
萬治三年  
九月廿五日  
後風雨